

建築物耐震診断判定通知書

交付番号 SKK判第 13022 号

交付年月日 平成 25 年 11 月 13 日

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査
代表取締役社長 兼平 久

下記による申請について、判定しましたので通知します。

記

1	申請年月日	平成25年10月8日		
2	建築物の名称	稚内南中学校 校舎B棟(20棟)		
3	建築物の所在地	稚内市緑1丁目		
4	主要用途	中学校 校舎	5 階 数	地上 2 階 地下 階 塔屋 階
6	構造	RC造	7 軒 高	7.10 m
8	延べ面積	823 m ²		

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会の判定

別添判定書のとおり妥当なものである。

株式会社 札幌工業検査 建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健一



SKK判第 13022 号

平成25年11月13日

耐震診断判定書

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健一



平成25年10月8日 付耐震診断判定申込のあった建築物について、
次のとおり判定します。

記

1 耐震診断対象建築物

名称	稚内南中学校 校舎B棟(20棟)
所在地	稚内市緑1丁目
構造・規模	RC造 地上2階 ・ 823 m ²

2 審査結果

耐震診断は適正におこなわれている。

以上

(様式1)

§ 1 建物概要

1-1 一般事項

建物名称		稚内南中学校 校舎B棟(20棟)			
建築場所		稚内市緑1丁目			
用途		(竣工時) 中学校 校舎		(現 状) 中学校 校舎	
設計者等	設計者	株式会社 久米建築事務所			
	監理者	株式会社 久米建築事務所			
	施工者	不明			
	診断者	株式会社 創 建 社			
建物規模	敷地面積	28,500 m ²	建築面積	446.5 m ²	
	延べ面積	823 m ²	基準階面積	376.5 m ²	
	軒 高	7.1 m	最高の高さ	7.7 m	
	基準階階高	3.3 m	地下階高	— m	
建物履歴	設計年	昭和52年(1977年)	竣工年	昭和53年(1978年)	
	増築・改築	有 ・ (無)	(履歴の内容) 平成14年(2002年) 大規模改修工事		
	補修・模様替	有 ・ (無)			
	用途変更	有 ・ (無)			
	火 災	有 ・ (無)			
震 災	有 ・ (無)	観測点:稚内市中央 平成18年(2006年)8月 サハリン西方沖 震度2 平成25年(2013年)5月 オホーツク海 震度1			
構造概要	構造種別	鉄筋コンクリート造	構造形式	耐震壁付ラーメン構造	
	階数	地上 2階	地下 —	塔屋	—
	基礎形式	独立基礎	地 業	(直接) ・ 杭	地 耐 力 30 t/m ²
	地盤	1種 (2種) ・ 3種	支持層	軟質泥岩	杭支持力
	敷地概況	平坦地			杭径
設計図書	既存図面等	意匠図 : 一般図 (有) ・ 無		詳細図: (有) ・ 無	
		構造図 : (有) ・ 無		構造計算書 : (有) ・ 無	
		地質調査資料 : 有 ・ (無)		(近隣資料 (有) ・ 無)	
添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料など				
仕上(下地共)概要	屋 根	コンクリート直均しの上、アスファルト露出防水			
	外 壁	モルタル厚20mmの上、リシン吹付			
	天 井	プラスターボード t=9、V・P仕上 他			
	内 壁	シナベニヤ t=6、V・P仕上 他			
	床	ビニルアスベストタイル貼り 他			
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm	(現状)	130 cm	
	(煙突)	Exp.Jの(有) 無			

(様式2)

耐震診断結果表

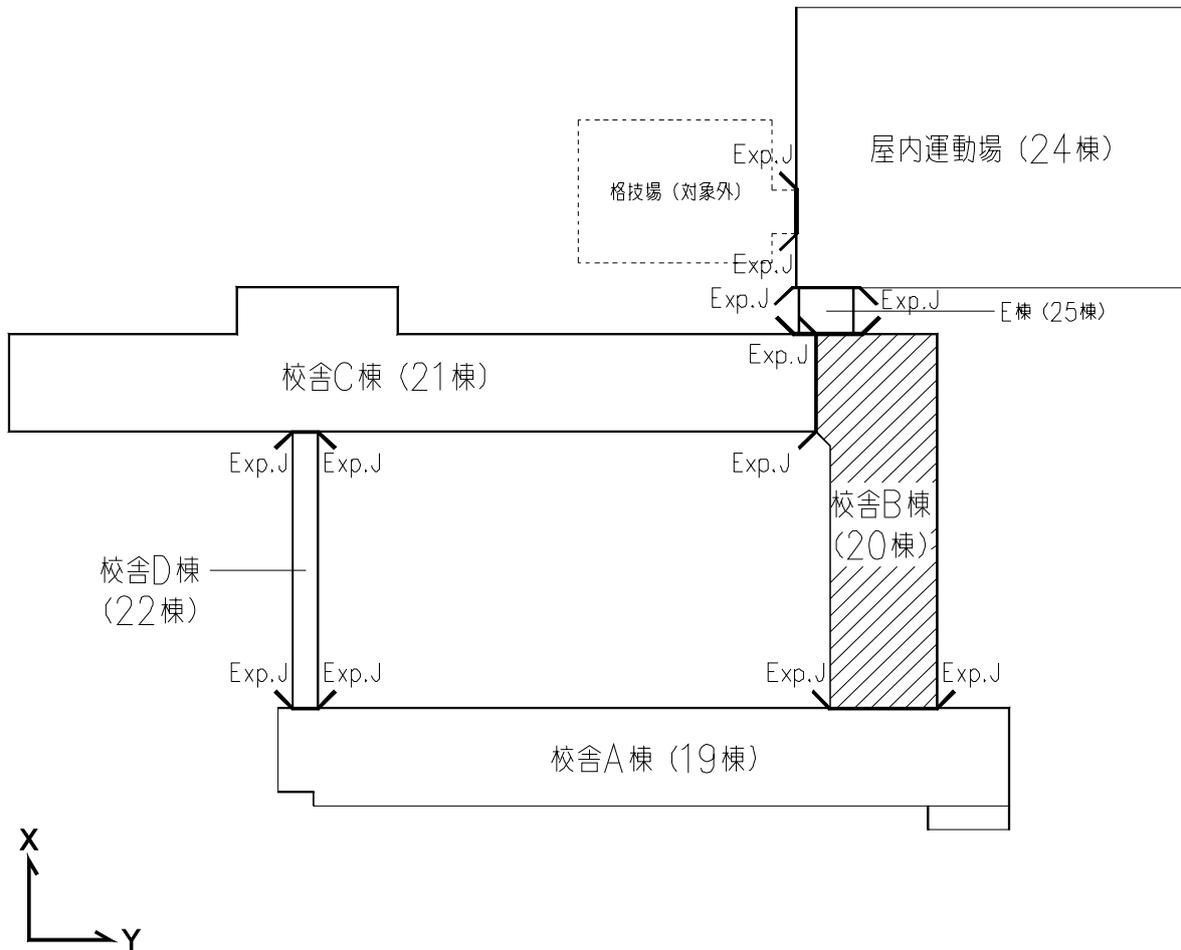
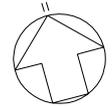
建物名称(棟 名)		稚内南中学校 校舎B棟(20棟)						
層重量(kN)		1階	4878.39	2階	4400.60			
単位重量(kN/m ²)		1階	12.95	2階	9.85			
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X方向	階		階		階		階
	Y方向	階		階		階		階
耐震診断結果(正・負加力で不利な数値を記入)		判定指標値 Iso = 0.56				C _{TU} ・S _D = 0.24		
方 向	階	F	E ₀	S _D	T	I _s	C _{TU} ・S _D	判定
X方向 (桁行方向)	2	1.00	1.103	0.926	0.933	0.953	1.021	OK
	1	1.00	0.541	0.833	0.933	0.421	0.451	NG
Y方向 (張間方向)	2	1.00	1.144	0.926	0.933	0.989	1.060	OK
	1	1.00	0.339	0.833	0.933	0.264	0.282	NG
結果 (特性)	X方向 (桁行方向)	各階とも累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っているが、構造耐震指標 I _s 値は1階で判定値を下回っており「耐震性に疑問がある。」と判定される。						
	Y方向 (張間方向)	各階とも累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っているが、構造耐震指標 I _s 値は1階で判定値を下回っており「耐震性に疑問がある。」と判定される。						
煙 突		増幅率(β _H)1.5に対して、所要の耐震性能は確保されている。						

(様式-3a)

耐震診断指標 (RC造)

耐震性能	RC造	準拠耐震診断基準		「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準 同解説」2001年改訂版 (財)日本建築防災協会	
		適用(参考)図書		同上	
		診断次数		二次診断	
		使用計算プログラム	建物重量等	ACE許容2-RC (Ver. 2.42) (株)東京デンコー	
			診断計算	ACE診断2001 (Ver. 3(2009)) (株)東京デンコー	
		耐震判定基本指標	E_s	0.7	
		地盤指標	G	1.0	
		用途指標	U	1.0	
		地域指標	Z	0.8	
		構造耐震判定指標	I_{so}	$0.7 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.56$	
累積強度指標	$C_{TU} \cdot S_D$	$0.3 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.24$			
鉄骨造	準拠耐震診断基準		/		
	適用(参考)図書				
	使用計算プログラム	建物重量等			
		診断計算			
	地盤指標	G			
	用途指標	U			
	地域指標	Z			
構造耐震判定指標	I_s				
材強度	コンクリート強度 (設計基準強度)		設計基準強度	診断強度	
		1~2階	F_c : 210 kg/cm ²	$F_c 21$: 21 N/mm ²	
	鉄筋材種 鉄筋降伏点強度 直径・間隔	柱主筋	SD 35 : 394 N/mm ²	・ D19、D22	
		柱帯筋	SD 30 : 344 N/mm ²	・ D10@100mm	
		梁主筋	SD 35 : 394 N/mm ²	・ D19、D22、D25	
		梁肋筋	SD 30 : 344 N/mm ²	・ D10@150mm、D10@100mm、@200mm	
	鉄骨材種 鉄骨降伏点強度	壁主筋	SD 30 : 344 N/mm ²	・ D10@250mm S ・ D10@200mmダブル、@250mm Dチドリ	
		柱	N/mm ²		
		梁	N/mm ²		
		ブレース	N/mm ²		
高力ボルト					
その他	リベット				
	第2種構造要素の処理		なし		

1-3 添付図書



	階数	構造	延べ面積	建築年次	備考
校舎A棟	3・塔屋1	RC造	2,434 m ²	昭和52年8月(1977年)	19棟
校舎B棟	2	RC造	823 m ²	昭和53年3月(1978年)	20棟
校舎C棟	2	RC造	1,895 m ²	昭和53年3月(1978年)	21棟
校舎D棟	2	RC造	68 m ²	昭和53年3月(1978年)	22棟
E棟	2	WRC造	81 m ²	昭和53年10月(1978年)	25棟
屋内運動場	2	S造一部SRC造	1,216 m ²	昭和53年10月(1978年)	24棟